

あなたの家族も
幸せになれます



あなたの家族も幸せになります

この難しい時代に、夫婦や家族は様々な問題に直面します。そのような中で、幸せな家庭を築くのは簡単なことではありません。しかし、助けがあります。この冊子は家族生活のあらゆる面を取り上げたマニュアルではありませんが、聖書のしっかりとした原則や実的な提案が載せられています。それらを当てはめるなら、家族が幸せになるのに役立つでしょう。



目次

セクション	ページ
1 幸せな夫婦になるために神に従う	3
2 夫婦の絆を守る	6
3 問題を首尾よく解決する	9
4 お金を賢く管理する	12
5 親と良い関係を保つ	15
6 赤ちゃんが生まれたら	18
7 子どもをしっかりと教える	22
8 つらいことが起きた時	26
9 家族でエホバを崇拝する	29

© 2014

WATCH TOWER BIBLE AND TRACT SOCIETY OF PENNSYLVANIA
発行者

ものみの塔聖書冊子協会

2014年4月印刷版

この出版物は販売を目的としたものではありません。世界的な聖書教育活動の一環として提供されており、その活動は自発的な寄付によって支えられています。聖句は、特に注記がない限り、現代語による「新世界訳聖書」参照資料付きからの引用です。

Your Family Can Be Happy

Japanese (hf-J)

Made in Japan

日本にて印刷

幸せな夫婦になるために 神に従う

「人を創造された方は、

これを初めから

男性と女性に造」られた。

—マタイ 19:4



エホバ*神は、最初の結婚式を執り行なわれた方です。聖書によれば、エホバは最初の女性を造られた後、「それを人のところに連れて来られ」ました。アダムはとても喜び、「これこそついにわたしの骨の骨、わたしの肉の肉」と言いました。（創世記 2:22, 23）エホバは今でも、結婚した人たちが幸せになることを望んでおられます。

結婚する時は、何もかもがバラ色に見えるかもしれませんが、しかし、現実には、心から愛し合っている夫婦でも問題にぶつかることがあります。（コリント第一 7:28）この冊子に載せられている聖書の原則を当てはめれば、家族として幸せな生活を送れるでしょう。—詩編 19:8-11。

* エホバとは、聖書が明らかにしている、神の名前です。

エホバから与えられた役割を受け入れる

聖書は何と述べているか：夫は家族の頭かしらです。—エフェソス 5:23。

夫の皆さん、エホバは、あなたが妻を優しく気遣うことを望んでおられます。(ペテロ第一 3:7) 神は、夫を補うものとして妻を造り、夫が妻を愛して大事にするよう願っておられるのです。(創世記 2:18) 夫は妻を深く愛し、妻の関心事を喜んで優先すべきです。—エフェソス 5:25-29。

妻の皆さん、エホバがあなたに望んでおられるのは、夫を深く敬い、夫が頭としての役割を果たせるように助けることです。(コリント第一 11:3。エフェソス 5:33) 夫の決定を受け入れ、進んで協力してください。(コロサイ 3:18) そのようにすれば、夫の目にもエホバの目にも美しく映ります。—ペテロ第一 3:1-6。

何ができるか：

より良い夫または妻となるためにどうしたらいいか、配偶者に尋ねてみてください。相手の言うことを注意深く聞き、改善するよう努力しましょう

辛抱強くあってください。夫も妻も、どうすれば相手が喜ぶかが分かるまで、時間がかかるものです

配偶者の気持ちをよく思いやる

聖書は何と述べているか：配偶者の益を図る必要があります。(フィリピ 2:3,4) エホバはご自分の僕しもべたちに、「すべての人に対して穏やか」であるよう求めておられます。そのことを忘れず、配偶者を大切にしてください。(テモテ第二 2:24) 聖書にはこうあります。「剣で突き刺すかのように無思慮に話す者がいる。しかし、賢い者たちの舌は人をいやす」。ですから、言葉を注意深く選びましょう。(箴言 12:18) エホバの霊の助けがあれば、愛情をこめて親切に話せるでしょう。—ガラテア 5:22, 23。コロサイ 4:6。

何ができるか：

何かの問題について配偶者と話す前に、平静を保って広い心を持てるように助けを祈り求めましょう

何をどのように言うか、よく考えましょう

チームであることを意識する

聖書は何と述べているか：結婚すると、あなたと配偶者は「一体」になります。(マタイ 19:5) とはいえ、2人の人であることに変わりはないので、意見が異なる場合もあるでしょう。ですから、同じ考えや気持ちを持つように努力する必要があります。(フィリピ 2:2) 特に、何かを決める時には、2人が一致していることが大切です。聖書は、「一緒に協議する者たちには知恵がある」と述べています。(箴言 13:10) 聖書のいろいろな原則を考慮し、重要なことは一緒に決定しましょう。— 箴言 8:32, 33。

何ができるか：

配偶者に、情報や意見だけでなく、自分の気持ちを伝えてください

約束や契約などをする時には、前もって配偶者に相談しましょう



現実的かつ前向きな見方をする

自分自身にも配偶者にも、完璧さを求めてはなりません。(詩編 103:14。ヤコブ 3:2) 配偶者の良い点に注目するようにします。聖書の原則が役に立つことを確信し、辛抱強くありましょう。(テモテ第二 3:16) エホバの助言に従うよう努力するなら、エホバは必ず報いてくださり、夫婦の絆は年々強くなってゆきます。— ガラテア 6:9。

考えてみましょう

わたしは自分のことよりも妻/夫のことを気遣っているだろうか。妻/夫はどう感じているだろうか

今日わたしは、妻/夫に愛や敬意を表わすために何をしたらだろうか

夫婦の 絆を守る

「神がくびきで結ばれたものを、

人が離してはなりません」。

—マルコ 10:9

エホバはわたしたちに、「忠節な愛」を示すよう求めておられます。(ミカ 6:8, 脚注) これは夫婦間で特に重要です。忠節さのないところに信頼はないからです。そして、愛にあふれた関係には信頼が欠かせません。

今日、互いに忠節を示さなくなる夫婦がますます増えています。夫婦の絆^{きずな}を守るために、2つのことを行なうよう決意しなければなりません。

結婚生活を優先させる

聖書は何と述べているか:「より重要な事柄を見きわめる」必要があります。(フィリピ 1:10) 結婚関係は、人生の中でも極めて重要なものですから、優先させなければなりません。

エホバは、夫婦が互いによく関心を払い、一緒に人生を楽しむことを望んでおられます。(伝道の書 9:9) 配偶者を決してないがしろにせず、相手を喜ばせることを考えるべきなのです。(コリント第一 10:24) 配偶者が、自分が必要とされ感謝されている、と感じられるようにしてください。

何ができるか:

一緒に過ごす時間を定期的に取り、その時間は相手によく注意を向けましょう

個人ではなく、夫婦という単位で考えるようにします



自分の心を守る

聖書は何と述べているか：「女を見つづけてこれに情欲を抱く者はみな、すでに心の中でその女と姦淫^{かんいん}を犯したのです」。(マタイ 5:28) 不道德なことを考え続けるなら、ある意味で配偶者を裏切っていることになります。

エホバは、「あなたの心を守れ」と述べておられます。(箴言 4:23。エレミヤ 17:9) そうするには、自分の目を守る必要があります。(マタイ 5:29, 30) 族長ヨブの手本に倣ってください。ヨブは自分の目と契約を結び、情欲を抱いて他の女性を見ることがないようにしました。(ヨブ 31:1) ポルノを決して見ないという決意を固めましょう。また、配偶者以外の人に恋愛感情を抱かないことを思い定めてください。

何ができるか：

配偶者との固い絆が、他の人にはっきり分かるようにしてください

配偶者の感情を思いやり、ある人との関係が配偶者を不安にさせるようなら、すぐに改めましょう



自分がすべきことを行なう

自分を正直に見つめ、弱点を見極めてください。(詩編 15:2) 他の人に助けを求めることをためらってはなりません。(箴言 1:5) 不道德な考えが浮かんだら、懸命に払いのけましょう。あきらめないでください。(箴言 24:16) 配偶者との絆を守ろうとする努力を、エホバは祝福してくださいます。

考えてみましょう

どうすれば妻/夫との時間を
もっと取れるだろうか

妻/夫は自分の一番の親友
だろうか

問題を首尾よく解決する

「互いに対して熱烈な愛を抱きなさい。

愛は多くの罪を覆うからです」。

—ペテロ第一 4:8



結婚生活を始めると、様々な問題に直面するでしょう。物の見方や感じ方の違いによって生じるものもあれば、家庭の外から来る問題や、予期しない出来事などもあります。

逃げ出したいくなるかもしれませんが、聖書は問題にきちんと取り組むよう勧めています。（マタイ 5:23, 24）聖書の原則を当てはめることにより、最善の解決策を見いだせるでしょう。

問題について話し合う

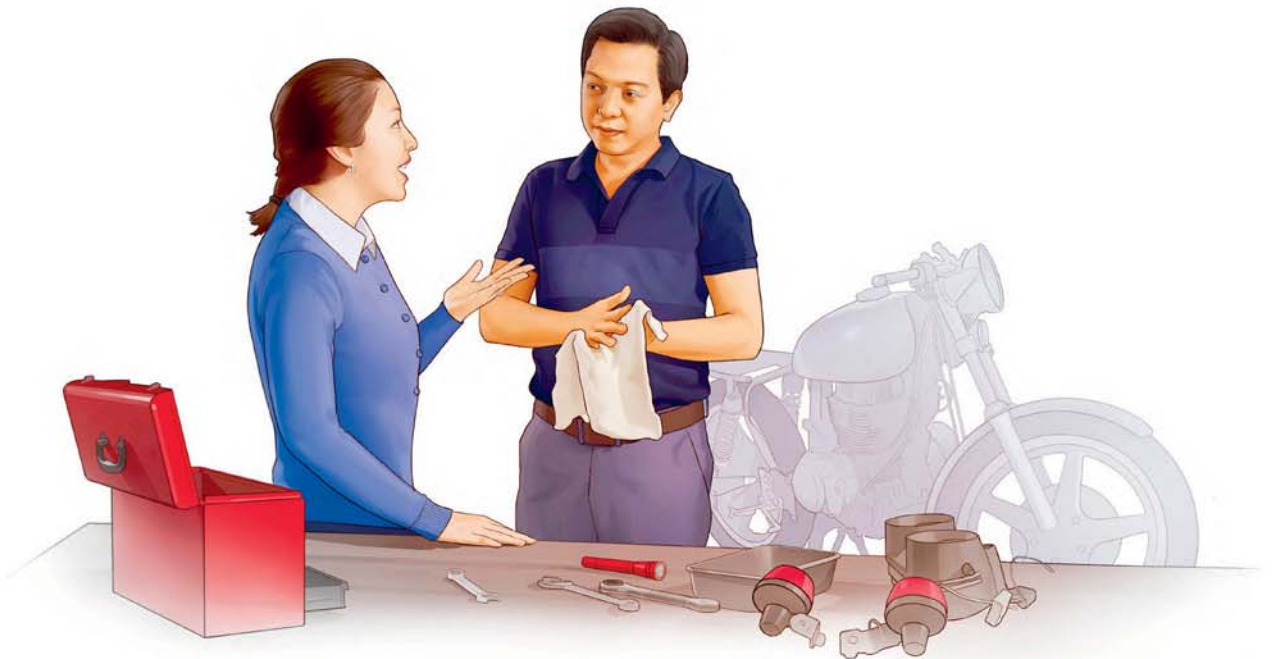
聖書は何と述べているか：「話すのに時がある」。(伝道の書 3: 1, 7) 問題について話すために時間を取りましょう。自分の気持ちや考えていることを、配偶者に正直に話してください。いつも「真実を語り」ます。(エフェソス 4:25) 感情が高ぶっても、けんかにならないように自分を抑えてください。落ち着いて話すようにすれば、話し合いが口論に発展するのを防げます。—箴言 15: 4; 26:20。

意見が合わない時にも穏やかさを保ち、相手に愛や敬意を表わすのを忘れないようにしましょう。(コロサイ 4:6) だんまりを決め込んだりせず、できるだけ早く問題を解決するようにします。—エフェソス 4:26。

何ができるか：

問題について話し合うために、都合の良い時間を見つけましょう

相手が話している時には、口を挟まないようにします。あなたの番になってから話してください



よく耳を傾け、相手の気持ちをくみ取る

聖書は何と述べているか：「互いに対する優しい愛情を抱きなさい。互いを敬う点で率先しなさい」。(ローマ 12:10) どのように聞くかは重要です。「思いやり」や「謙遜な思い」をもって、配偶者の見方を理解するように努めてください。(ペテロ第一 3:8。ヤコブ 1:19) 聞くふりをしてはなりません。可能なら、行なっていることを中断して、相手の話に注意を集中しましょう。あるいは、別の時に話し合えるか尋ねることができます。配偶者を敵ではなくチームメイトとみなすなら、すぐに「腹を立て」たりはしないでしょ。一伝道の書 7:9。

何ができるか：

いら立ちを感じるような内容でも、広い心で最後まで聞きましょう

言葉の背後にある気持ちをくみ取るようにしてください。相手の身ぶりや声の調子に注意を払います

決めたことを実行する

聖書は何と述べているか：「あらゆる労苦によって利益がもたらされる。しかし、単なる唇の言葉は窮乏に向かう」。(箴言 14:23) 解決策について意見をまとめるだけでは不十分です。2人で決めたことを、実行しなければなりません。かなり苦労するとしても、やるだけの価値があります。(箴言 10:4) チームとして力を合わせるなら、「その骨折りに対して良い報いを得る」ことができるでしょう。一伝道の書 4:9。

何ができるか：

問題を解決するために、それぞれが具体的に何を行なうかを決めましょう

時折、進捗状況を確認してください

一緒に問題に取り組む

一緒に事に当たれば、夫婦は強い絆で結ばれて幸せになれます。亀裂が生じて惨めな思いをすることはないでしょう。(箴言 24:3) 前途に目を向けるようにしましょう。過去の問題を蒸し返すべきではありません。(箴言 17:9) よく協力し、聖書の原則を当てはめるなら、どんな問題にもうまく対処できます。

考えてみましょう

妻/夫と今いちばん話し合いたい問題は何だろうか

妻/夫が問題についてどう感じているかを本当に理解するために、何ができるだろうか

お金を 賢く 管理する

「一緒に協議する者たちには
知恵がある」。

— 箴言 13:10

家族に必要なものを備えるために、だれでもお金が必要です。(箴言 30:8) 聖書も、金は「身の守り」と述べています。(伝道の書 7:12) 夫婦でお金のことを話し合うのは気まずいかもしれませんが、お金が問題の種にならないようにしてください。(エフェソス 4:32) 夫婦は互いを信頼し、お金の使い方を一緒に決めるべきです。

前もってよく考える

聖書は何と述べているか:「あなた方のうちのだれが、塔を建てようと思う場合、まず座って費用を計算し、自分がそれを完成するだけのものを持っているかどうかを調べないでしょうか」。(ルカ 14:28) お金をどう使うかを一緒によく考えることはとても重要です。(アモス 3:3) 何が必要か、そのためにどれぐらいお金を費やせるかを見定めましょう。(箴言 31:16) 何かを買うお金があるからといって、必ずしもそれを買う必要はないかもしれません。負債を抱え込まないようにしてください。持っているお金だけを使うようにします。— 箴言 21:5; 22:7。

何ができるか:

月末にお金が余るなら、それをどうするか一緒に決めてください

赤字になったら、支出を減らすために具体的な計画を立てましょう。例えば、外食する代わりに自分で食事を作れます



隠し立てせず、現実を見据える

聖書は何と述べているか：「エホバのみ前だけでなく、人の前でも正直な備えをする」。(コリント第二 8:21) 自分の収入や出費について、配偶者に正直に伝えてください。

お金に関して大きな決定をする時には、いつでも配偶者に相談しましょう。(箴言 20:18) お金についてよく意思を通わせるなら、平和な夫婦関係を保つのに役立ちます。自分の収入を、自分個人のお金ではなく、家族のお金とみなすようにします。一テモテ第一 5:8。

何ができるか：

幾らまでなら相談せずに使ってよい
か、2人で決めておきましょう

問題が生じる前に、お金について話
し合っておくようにします



お金に対する見方

お金は大切ですが、そのせいで夫婦の間に溝が生じたり、必要以上に心配したりしないようにしましょう。(マタイ 6:25-34) 生活を楽しむのに、たくさんのお金は必要ありません。聖書は、「あらゆる強欲に警戒しなさい」と述べています。(ルカ 12:15) 夫婦の絆は、お金で買えるどんなものよりも貴重です。ですから、今あるもので満足し、神との関係を決してないがしろにしないようにしてください。そうすれば家族は幸福になり、エホバの是認を得られます。一ヘブライ 13:5。

考えてみましょう

負債を抱えないように、家族
として何ができるだろうか

最近、家計について妻/夫と
率直に話し合っただろうか



親と良い関係を保つ

「親切、へりくだった思い、温和、そして辛抱強さを

身に着けなさい」。—コロサイ 3:12

結婚すると、新しい家庭を築くことになります。親への愛や敬意は変わりませんが、配偶者がいちばん大切な存在になることでしょう。親はそれを受け入れにくく感じるかもしれません。聖書の原則は、上手にバランスを取るうえで助けになります。親と良い関係を保ちながら、新しい家族の絆^{きずな}を育むことができるのです。

親に対して正しい見方をする

聖書は何と述べているか：「あなたの父と母を敬いなさい」。(エフェソス 6:2) わたしたちは何歳になっても、常に親を敬わなければなりません。あなたの配偶者も親を気遣う必要がある、ということを思いに留めてください。聖書には、「愛はねたまず」とあります。ですから、配偶者が親と仲が良いからといって、自分は軽視されているなどと考えないようにしましょう。一コリント第一 13:4。ガラテア 5:26。

何ができるか：

「君の親はいつも僕をけなす」とか、「あなたのお母さんはちっとも褒めてくれない」といった、大げさな言い方は避けましょう

配偶者の観点から物事を見るようにします



必要な時には、はっきり考えを伝える

聖書は何と述べているか：「男はその父と母を離れて自分の妻に堅く付き、ふたりは一体となるのである」。(創世記 2:24) 親は子どもが結婚した後も、自分たちにはまだ責任があると考えて、必要以上に干渉するかもしれません。

夫婦はどこで一線を引くかを決めて、それを親切に親に伝えるとよいでしょう。ぶしつけにならないようにしながら、率直に話すことができます。(箴言 15:1) 謙遜さ、温和さ、辛抱強さを示すなら、「愛のうちに互いに忍び」つつ、親と温かい関係を築けるでしょう。一エフェソス 4:2。

何ができるか：

親から過度に干渉されていると感じるなら、平穏な時に配偶者と話し合ってください

そうした問題をどのように扱うか、2人の意見を合わせるようにします



理解するよう努める

親の気持ちや見方を理解することは大切です。親は悪意をもって干渉しているのではなく、純粋に気遣っているのでしょう。子どもが独立した家庭を持っているとはなかなか思えないのかもしれませんが、自分たちは相手にされなくなったと考えることさえあります。聖書の原則に従い、率直に意思を伝えるなら、親に敬意を示すことができ、結婚生活をかき乱されずにすむでしょう。

考えてみましょう

親がわたしたちの生活に関心を持つのは自然なことだ、と言えるのはなぜだろうか

どうすれば妻/夫を優先しつつ、親に敬意を示せるだろうか

赤ちゃんが生まれたら

「子らはエホバからの相続物」。

— 詩編 127:3



赤ちゃんの誕生は、夫婦にとって非常に喜ばしいことですが、大変な面もあります。時間と体力のほとんどを赤ちゃんの世さに費やすことになって、戸惑いを覚えるかもしれません。睡眠不足や感情面の変化により、夫婦関係が緊張することもあります。赤ちゃんを世話しつつ夫婦の絆を保つために、夫も妻も調整が必要です。そうした課題に取り組むうえで、聖書のアドバイスはどのように役立つでしょうか。

生活がどう変わるかを理解する

聖書は何と述べているか:「愛は辛抱強く、また親切です」。さらに、愛は「自分の利を求めず、刺激されてもいら立ちません」。(コリント第一 13:4, 5) あなたが母親なら、自然に赤ちゃんに注意を集中することでしょう。しかし、夫はほったらかしにされていると感じるかもしれないので、夫のことも気遣う必要があるのを忘れないようにしてください。辛抱強さと親切を示すなら、夫は自分が必要とされており、育児にかかわっているという実感が持てるでしょう。

「夫たちよ、……知識にしたがって妻と共に住み……なさい」。(ペテロ第一 3:7) 夫は、妻が体力のほとんどを赤ちゃんの世話に費やすことを理解する必要があります。妻は責任が増えたことでストレスを感じたり、くたくたになったり、落ち込んだりしているかもしれません。あなたに食ってかかることがあったとしても、冷静に対応するようにしてください。「怒ることに遅い人は力ある者に……勝る」からです。(箴言 16:32) 識別力を示し、妻をよく支えましょう。一箴言 14:29。

何ができるか:

父親: 夜中でも、赤ちゃんの世話をする妻を手伝ってください。妻や赤ちゃんともっと時間を過ごせるよう、他の活動に費やす時間に限度を設けましょう

母親: 夫が赤ちゃんの世話を手伝いたいと言うなら、やってもらってください。夫がうまくできない時には、批判するのではなく、親切にやり方を教えましょう



夫婦の絆を強める

聖書は何と述べているか：「ふたりは一体となる」。(創世記 2:24) 家族に新しいメンバーが加わったとはいえ、夫婦は依然として「一体」であることを忘れないでください。強い絆を保つために懸命に努力しましょう。

妻の皆さん、夫の助けや支えに感謝してください。その気持ちを言い表わすなら、夫はうれしく思うでしょう。(箴言 12:18) 夫の皆さん、妻をどれほど愛して大事に思っているか伝えてください。妻が家族をよく世話をしていることを褒めましょう。—箴言 31:10, 28。

「おのこの自分の益ではなく、他の人の益を求めてゆきなさい」。(コリント第一 10:24) いつも配偶者の最善の益を考えて行動しましょう。夫婦で語り合い、褒め合うために時間を取ってください。性関係においては利己的にならないようにし、相手の必要を考慮に入れます。聖書は「互いにそれを奪うことがないようにしなさい」と述べ、「相互に同意」すべきことを示しています。(コリント第一 7:3-5) ですから、2人で率直に話し合いましょう。互いに辛抱強さや理解を示すなら、絆が強まります。

何ができるか：

2人だけの時間を取り分けるのを忘れないようにしましょう

メッセージカードやささやかな贈り物を渡すなど、ちょっとしたことを行なって、配偶者が自分は愛されていると感じられるようにしましょう



赤ちゃんを教える

聖書は何と述べているか：「幼い時から……親しんできた……その聖なる書物はあなたを賢くし、……救いに至らせることができます」。(テモテ第二 3:15) どうやって赤ちゃんを教えるか、計画を立ててください。赤ちゃんは生まれる前でさえ、驚くべき学習能力を持っています。胎児の時からあなたの声を聞き分け、あなたの感情に反応します。ごく幼いころから本を読み聞かせましょう。赤ちゃんは読まれている内容は理解できないかもしれませんが、大きくなってから本を読むのが好きになるでしょう。

神について話して聞かせるのに幼すぎるということはありません。エホバへのあなたの祈りを聞かせてあげましょう。(申命記 11:19) 一緒に遊ぶ時も、神が造られたものについて話すようにします。(詩編 78:3, 4) お子さんは成長するにつれ、エホバに対するあなたの愛を感じ、自分もエホバを愛するようになるでしょう。



何ができるか：

赤ちゃんを教えるための知恵を祈り求めてください

重要な言葉や考えを反復すると、赤ちゃんは幼い時から学び始めます

赤ちゃんが結婚生活に与える良い影響

やがて、夫婦は親であることに慣れて、自信が持てるようになります。子どもを育てると、愛情や辛抱強さが増し、より親切になることでしょう。夫婦がよく協力し、支え合うなら、赤ちゃんがいることによって絆が強まります。詩編 127編3節の、「腹の実は報いである」という言葉の真実さを実感できるに違いありません。

考えてみましょう

妻/夫が家族のためにしてくれることへの感謝を表わすために、この1週間、何をしたらろうか

最近、妻/夫と、赤ちゃんのことばかりではなく自分たちのことについて話しているだろうか

子どもを しっかり教える

「わたしが今日命じているこれらの言葉をあなたの心に置かねばならない。あなたはそれを自分の子に教え込み、……それについて話さねばならない」。—申命記 6:6, 7



エホバは家族という取り決めを設けた際、子どもを親の手に委ねられました。(コロサイ 3:20) 親には、子どもがエホバを愛して責任感のある大人になるよう、教える責任があります。(テモテ第二 1:5; 3:15) また、子どもの心にあるものを知るように努めなければなりません。もちろん、親自身の手本はとても重要です。親がまず自分の心にエホバの言葉を置くなら、それを子どもに教えやすくなります。—詩編 40:8。

子どもが何でも話せるようにする

聖書は何と述べているか：「聞くことに速く、語ることに遅く……あるべきです」。(ヤコブ 1:19) 子どもが、親に何でも話せると感じられるようにしましょう。何かを話したい時に親がいつでも聞いてくれるということを、子どもが確信できるようにするのです。話しやすいように、落ち着いた平和な雰囲気を作ってください。(ヤコブ 3:18) 子どもは、親がすぐに怒ったり厳しいことを言ったりすると思うと、本心を明かさないかもしれません。子どもに辛抱強く接し、愛していることをたびたび伝えましょう。—マタイ 3:17。コリント第一 8:1。

何ができるか：

子どもが話したがっている時には、すぐに聞いてあげるようにします

問題が生じた時だけではなく、普段から子どもとよく会話しましょう

子どもの本当の気持ちを理解するよう努める


聖書は何と述べているか：「物事に洞察力を示している者は善を見いだす」。(箴言 16:20) 子どもの本当の気持ちは、言葉には表われていないことがあります。若い人はよく大げさな言い方をしたり、本心とは違うことを言ったりします。「聞かないうちに返事をするなら、それはその人の愚かさ」です。(箴言 18:13) すぐに腹を立てないようにしましょう。—箴言 19:11。

何ができるか：

子どもが何を言っても、話を遮ったり過剰に反応したりしないよう決意してください

自分が子どもと同じ年齢の時にどう感じていたか、どんなことを重要だと考えていたか、思い出しましょう





「少年をその行くべき道に
したがって育て上げよ」

3

夫婦が一致していることを示す

聖書は何と述べているか：「我が子よ、あなたの父の懲らしめに聴き従え。あなたの母の律法を捨て去ってはならない」。(箴言 1:8) 父親も母親も、子どもに対する権威をエホバから与えられています。ですから、親に敬意を示して従うよう、子どもを教えるければなりません。(エフェソス 6:1-3) 親が「同じ思い……でしっかりと結ばれて」いないなら、子どもはそのことに気づきます。(コリント第一 1:10) 配偶者に同意できない場合でも、子どもの前でそれを示さないようにしましょう。親への敬意が薄らいでしまうかもしれないからです。

何ができるか：

どのように子どもに懲らしめを与えるか話し合い、合意してください

子どもをどう教えるかに関して意見が異なる場合、配偶者の見方を理解するようにします

方針を持つ

聖書は何と述べているか：「少年をその行くべき道にしたがって育て上げよ」。(箴言 22:6) 行き当たりばったりでは、子どもをうまく教えられません。方針が必要であり、それには懲らしめを与えることも含まれます。(詩編 127:4。箴言 29:17) 懲らしめとは、単に罰することではありません。決まりごとを守るべき理由を理解するよう子どもを助けることが関係しています。(箴言 28:7) 加えて、子どもがエホバの言葉を愛し、その中にある原則を認識できるように教えましょう。(詩編 1:2) そうすれば、子どもは健全な良心を培えるでしょう。—ヘブライ 5:14。

エホバは努力に報いてくださる

親には、エホバのお考えを子どもに教えるという特別な仕事があります。(エフェソス 6:4) エホバもよくご存じのとおり、それは労力を要する仕事です。しかし、努力の結果として、神に賛美がもたらされ、親も大きな喜びを味わえるに違いありません。—箴言 23:24。

何ができるか：

子どもが、神は信頼できる実在者だと確信するように助けましょう

インターネットやSNSに潜む道徳上の危険を、子どもが見分けて避けられるようにし、性犯罪者から身を守るように教えてください

考えてみましょう

子どもが何でも話してくれるよう、どんなことができるだろうか

他の人の子育てから学べることがあるだろうか

つらいことが起きた時

「あなた方は大いに歡んでいます。もっとも、現在しばらくの間、やむをえないことであるにしても、あなた方はさまざまな試練によって悲嘆させられてきました」。

—ペテロ第一 1:6



家族として幸せな生活を送ろうと懸命に努力していても、喜びを奪うような出来事が不意に生じることがあります。(伝道の書 9:11) わたしたちが苦難に直面する時、神は愛情深く助けてくださいます。このセクションにある聖書の原則を当てはめるなら、最悪の事態にも対処できるでしょう。

エホバに^よ依り頼む

聖書は何と述べているか：「自分の思い煩いをすべて神にゆだねなさい。神はあなた方を顧みてくださるからです」。(ペテロ第一 5:7) つらい出来事は神のせいではない、ということ覚えておきましょう。(ヤコブ 1:13) 神に近づくなら、神は最善の方法で助けてくださいます。(イザヤ 41:10) 「そのみ前にあなた方の心を注ぎ出せ」という勧めに従いましょう。—詩編 62:8。

慰めを得る別の方法は、聖書を毎日読んで研究することです。そうすれば、エホバが「すべての患難においてわたしたちを慰めて」くださることを実感できるでしょう。(コリント第二 1:3, 4。ローマ 15:4) エホバは、「一切の考えに勝る神の平和」を与えると約束しておられます。—フィリピ 4:6, 7, 13。

何ができるか：

気持ちを落ち着かせて冷静に考えられるよう、エホバに助けを祈り求めてください

あらゆる選択肢を考慮し、いちばん良い道を選びましょう



自分と家族の必要に気を配る

聖書は何と述べているか：「理解ある者の心は知識を取得し、賢い者たちの耳は知識を見いだそうと努める」。(箴言 18:15) 家族の一人一人が何を必要としているか、十分に確かめましょう。皆と会話し、よく耳を傾けてください。—箴言 20:5。

家族のだれかが亡くなった場合はどうでしょうか。感情を表わすのをためらわないでください。イエスも「涙を流され」ました。(ヨハネ 11:35。伝道の書 3:4) 休息や睡眠を十分に取ることも大切です。(伝道の書 4:6) そうすれば、悲しみに対処しやすくなるでしょう。

何ができるか：

つらい出来事が起きる前から、家族との良いコミュニケーションの習慣があるなら、問題が生じた時に話しやすくなります

同じような状況を経験した人と話しましょう

必要な助けを得る

聖書は何と述べているか:「真の友はどんな時にも愛しつづけるものであり、苦難のときのために生まれた兄弟である」。(箴言 17:17) 友人たちは、助けになりたくても何をしたらいいかわからないかもしれません。自分が何を必要としているか、ためらわずに伝えてください。(箴言 12:25) また、聖書をよく知っている人に霊的な助けを求めましょう。聖書から与えられる助言は、きっと役に立つでしょう。—ヤコブ 5:14。

神とその約束を心から信じている人たちと定期的に交わるなら、助けが得られます。さらに、励ましを必要としている人をあなた自身が助けるなら、元気が出るでしょう。エホバとその約束に対する自分の信仰について語ってください。他の人を助けることに忙しくし、あなたを愛して気遣ってくれる人たちと距離を置かないようにしましょう。—箴言 18:1。コリント第一 15:58。

何ができるか:

親しい友人に話し、助けてもらいましょう

自分が何を必要としているか、具体的かつ正直に伝えるようにします

広い視野を持つ

圧倒されるように感じる時も、神に思いを向けるようにしましょう。ヨブは試練に遭っている時、「エホバのみ名が引き続きほめたたえられるように」と言いました。(ヨブ 1:21, 22) ヨブのように、自分の思い煩いよりもエホバのみ名やご意志を優先しましょう。物事が思いどおりにいかなくても、あきらめないでください。神を全く信頼しましょう。エホバはこう述べておられます。「わたしは、わたしがあなた方に対して考えている考えをよく知っている……それは平安についての考えであり、災いについてではない。あなた方に将来と希望を与えるためである」。—エレミヤ 29:11。

考えてみましょう

小さなことに関しても、エホバを全く信頼しているだろうか

エホバの善良さに日々感謝できる、どんな理由があるだろうか

家族でエホバを 崇拝する

「天と地……を造られた方を崇拝せよ」。

—啓示 14:7



この冊子の中で示されてきたように、聖書には家族の役に立つ原則がたくさん収められています。エホバはあなたが幸せになることを望んでおられます。生活の中でエホバの崇拝を第一にするなら、「ほかのものはみなあなた方に加えられる」と約束しておられます。(マタイ 6:33) エホバの願いは、あなたが本当に神の友になることです。あらゆる機会をとらえて、神との友情関係を築いてください。人にとって、それ以上に素晴らしいことはありません。—マタイ 22:37, 38。

エホバとの関係を強める

聖書は何と述べているか：『そしてわたしはあなた方の父となり、あなた方はわたしの息子また娘となる』と、全能者エホバは言われる。(コリント第二 6:18) 神は、あなたが親しい友になることを願っておられます。神と親しくなる一つの方法は、祈りです。エホバは、「絶えず祈りなさい」と促しておられます。(テサロニケ第一 5:17) あなたの胸の内や心配事を聞きたいと思っておられるのです。(フィリピ 4:6) 家族と一緒に祈るなら、あなたにとって神がいかに現実の存在かが家族に伝わります。

神に話しかけることに加えて、神の言われることを聞く必要もあります。神の言葉はもとより聖書に基づく出版物も研究することによって、そうできます。(詩編 1:1, 2) 学んだことを黙想しましょう。(詩編 77:11, 12) 神の言われることを聞くには、クリスチャンの集会に定期的に出席することも必要です。一詩編 122:1-4。

神との関係を強める別の重要な方法は、エホバについて他の人に話すことです。話せば話すほど、エホバを身近に感じられるでしょう。—マタイ 28:19, 20。

何ができるか：

毎日、聖書を読んで祈るための時間を取り分けてください

家族として、娯楽やくつろぎよりも霊的な活動を優先しましょう



家族の崇拜を楽しむ

聖書は何と述べているか：「神に近づきなさい。そうすれば、神はあなた方に近づいてくださいます」。(ヤコブ 4:8) 家族の崇拜のための予定を立て、定期的に行なう必要があります。(創世記 18:19) しかし、それだけでなく、日々の生活の中で神との関係を常に意識しなければなりません。「家で座るときも、道を歩くときも、寝るときも、起きるときも」神について話すことにより、家族と神との関係が強まるようにしてください。(申命記 6:6, 7) 「わたしとわたしの家の者とはエホバに仕えます」と述べたヨシュアのようになることを目標にしましょう。—ヨシュア 24:15。

何ができるか：

家族一人一人の必要を考慮に入れつつ、皆で学ぶためのきちんとした計画を立てましょう

家族の頭の皆さんへ

家族の崇拜を何にも
邪魔されないようにしましょう

家族が予習できるように、
何をするかを前もって伝えて
ください

家族全員が確実に
その場にいるようにします

平和な雰囲気の中で
皆が楽しめるように
しましょう



エホバに仕えることは幸福

エホバ神を崇拜することに勝る喜びはありません。あなたとご家族が心をこめて仕える時、エホバはそれを見て大いに喜ばれます。そのように仕え続けるなら、エホバへの愛は深まり、エホバにいっそう倣えるようになります。(マルコ 12:30。エフェソス 5:1) 神を中心とした結婚関係を築くことにより、夫婦間の絆は強まります。(伝道の書 4:12。イザヤ 48:17)「あなたの神エホバがあなたを祝福された」ことを実感して、あなたとご家族は永遠に幸せになることができるでしょう。一申命記 12:7。

考えてみましょう

最近、夫婦で一緒に祈っているだろうか

エホバへの信仰が強まるよう、家族でどんな資料を研究できるだろうか

jw.orgでも 家族に役立つ情報をご覧になれます

エホバの証人のウェブサイトをご覧になると、役に立つアドバイスや知恵を神の言葉からさらに得ることができます。世界各地の夫婦の経験談も載せられています。



配偶者に敬意のこもった接し方をする

相手を傷つけるような話し方をしない

言い争いをやめるには

許すには

友人との関係が親密なものになってきたら

配偶者を介護する必要が生じたなら

再婚後の生活を幸せなものにする

かんしゃくを起こしたら

子どもが障害を持っている場合

性について子どもに話す

思春期の子どもが親の宗教に疑問を抱くとき

十代の子どもを大人となるよう備えさせる

我が子の自傷行為に気づいたなら

ステップファミリーとして
家族を取り巻く人々と上手に接する

新しい記事が定期的に追加されます。

JW
.ORG

TM

エホバの証人の
公式ウェブサイト

このコードでも
www.jw.orgに
アクセスできます



hvj
140707